

第2回 久留米市民会館跡地活用等検討委員会

日時：平成31年3月26日(火)午前10時～

場所：久留米市庁舎 13階 1303会議室

次 第

1 開会

2 議題

(1) 前回の主な意見等 . . . 資料1、資料2

(2) 中心市街地における公共施設・行政機能の現状

①保健所・保健センター . . . 資料3

②幼児教育研究所 . . . 資料4

3 その他

第 1 回久留米市民会館跡地活用等検討委員会の主な意見等

1 意見

(1) 跡地活用について

- ・市民の利便性を考慮し、駐車場の確保と分散化している庁舎、行政組織をまとめることが必要
- ・複合施設として高いビルをつくるのも 1 つの考え方ではないかと思う。
- ・市中心部をどうにかたちで利用するかというのを視野に入れ、市民会館跡地を有効利用しながら考えることも必要
- ・単なるオフィスだけでなく、新しいものに不足分の機能を持たせて、賑やかなものをプラスするような、市民が集うような、来やすいようなものになればいいと思う。
- ・住民同士の交流やまちづくり団体の交流スペースや住民の方がいつも利用できるようなスペースがあったらいいと思う。
- ・人の交流や切れ目のない支援というのが子どもの事では言われおり、ゆったりと相談できるようなスペースが感覚として得られるような場所が作りだせないものかと思う。
- ・駐車場の問題は都市計画部門と調整し、公共交通と一緒に考えていく必要がある。

(2) 事業手法について

- ・施設整備に事業費がかかるため、民間資金活用等についての検討が必要
- ・市民会館跡地の一部を何か活用することで、今後公共施設を整備していく際の一部の財源にすることは、十分検討できると思う。

2 質問等

(1) 公共施設最適化

- ・計画の詳細について資料を配布

(2) 市民からの意見等

- ・市民から今までに出ている意見等があれば知りたい。

(3) 駐車場

- ・駐車場利用者の分析や時間帯別の利用状況を把握したうえで、駐車場が逼迫している状況を正確に見たほうがいい。

(4) 職員数

- ・組織改編を含めて将来的に何人くらいで職員を考えているのか。

(5) 福祉部門の業務量

- ・福祉部門の業務量の増大がどの程度かというのは一定のイメージをもっているのか。

(6) 集約する施設

- ・集まった方が便利な窓口業務とまちの中に散らばっていた方が便利なものがある。何を集約したらいいのかという市の考えを提示してほしい。

(7) 他市の跡地活用事例

- ・跡地活用の他市の事例を紹介してほしい。

(8) 職員の利便性

- ・市民の利便性と同時に働く方の利便性も考慮すべきであると思うので、職員の利便性についてまとまっているものがあれば知りたい。

市民からの意見等

1 駐車場

		件名・内容
①	2008	<p>○市役所の駐車場について（駐車場が狭い） 久留米市役所に用事がある行っても、駐車場が狭いために路上に車を連ねる事態が多く、時間にムダがあります。改善をよろしくお願いします。</p>
②	2012	<p>○市役所の駐車場が不便です 市役所にうかがうときに駐車場待ちに時間がかかり、不便だと感じる事が多々あります。特に、雨の日で子ども連れの際には困ります。 市役所横の広場は、イベントなどで使われることもなさそうなので、少し駐車場にすることはできませんか？そうすることで路上駐車の方も減るのではないのでしょうか？ 忙しい身からすると「市役所」＝「面倒くさい」というイメージです。</p>
③	2013	<p>○本庁舎の駐車場対策をお願いします 市役所本庁舎を訪れる人が多くて、駐車場が足りていないように思います。 立地的に確保できるスペースがないのはわかりますが、何かしら対策をお願いできればと思います。</p>
④	2015	<p>○市民駐車場に屋根を設置してもらいたい 車イスを使用していますが、雨が強い時に、屋根付きの駐車スペースがあるといいと常々思っています。</p>

2 施設利用

		件名・内容
①	2013	<p>○市役所最上階の土日夜間開放をお願いします 私は市役所最上階から見る景色が大好きです。土日祝および夜間も最上階に行けるようになれば、展望&夜景スポットとして人が集まるのではないかと思います。 佐賀県庁は土日祝夜間も景色が見れますし、元日には初日の出が見れるよう早朝開放もされたそうです。私も佐賀へ行ったら必ず佐賀県庁へ行っています。</p>
②	2018	<p>○子どもたちが勉強できる場所を増やしてほしい 現在、市内には学生が勉強できそうな公的な施設はいくつかありますが、常に何処も満席で、試験前などは場所の取り合いになります。 子どもたちが言うには、駐輪場があって軽食が取れ、西鉄やJRの駅から移動しやすいので、シティプラザに集中するそうです。シティプラザは多くの方の目があり明るいので、親からしても安心です。 つきましては、シティプラザに学生が集中して勉強に取り組めるスペースを増やしていただけませんか。また、シティプラザだけでなく、市役所内や大学などの図書館も中高生が利用できるようなになればよいのにと願います。 これからの未来を担う子どもたちが、久留米市は勉強しやすいと思える場所を作っていただきたいと思います。どうぞご検討ください。</p>

		件名・内容
③	2018	<p>○市の施設の空き部屋を中高生に開放してほしい</p> <p>市の施設の使用されていない会議室等を中高生の自習室として開放していただけないでしょうか。自宅ではなかなか集中出来ない子もいると思います。定期考査前になるとどこの図書館もいっぱいになるとの話もよく耳にします。各総合支所等に空き部屋等があれば自宅にも近く利用しやすいと思いました。ご検討いただきますようお願いいたします。</p>
④	2018	<p>○自習室等の学習場所の拡充を図ってほしい</p> <p>市内には中央図書館やシティプラザ等に無料の自習室が設けられていますが、土日ともなると中高生で混雑し、恒常的に席が不足しています。有料で自習室を貸し出す民間業者も少ないため、特に社会人の学習環境は整っているとはいえません。学習環境の確保のために有料でも構わないので余剰のある公的施設の一部を自習室として開放していただけないでしょうか。また、場所も西鉄久留米駅に偏らず、点在している方が助かります。まずは土日祝日のみの開放でもよいのでご検討いただきますようお願いいたします。</p>

3 その他

		件名・内容
①	2018	<p>○久留米市の財政再建について提案します</p> <p>サンライフ久留米、共同ホールの廃止凍結は理解できます。しかし、久留米シティプラザを含めた3施設を指定管理者制度等に改めたり、西鉄・JR各駅付近にオフィス機能・企業誘致を図り、西鉄・JRの利用客を増加させたりしないと、久留米市は「赤字再建団体」になってしまうと思います。</p>
②	2018	<p>○個人で利用できる憩いの場所をつくってもらえないでしょうか</p> <p>市民が個人的に利用できる一人用スペースを作っていただけないでしょうか。個室にすると問題があるかもしれないので「机+衝立」でも構いません。そのスペースで各人が本を読んだりなどするのです。居眠りしても構わないと思います。ただし、1時間数百円程度の利用料は徴収してください。そういう場所があると助かります。ご検討をお願いします。</p>
③	2018	<p>○市民会館跡地にスーパーマーケットを誘致してください</p> <p>JR久留米駅前にあったグルメシティが閉店した後、JR久留米駅から通町沿いだけでも6～7棟のマンションが建築されており、その全てがファミリー向けです。このエリアにはバス路線がなく坂道があります。これから年をとる事を考えると、近隣にスーパーマーケットがないと生活に支障をきたしてしまうため、長くここに住めるか不安になります。マンションだけでなく戸建ても多いエリアですのでスーパーマーケットが出店すると十分利益は上げられるのではないかと思います。せっかく久留米に移住してきて長く住もうと思っていますので、住環境の改善を期待しています。</p>

市役所駐車場の利用状況について

1 駐車場の収容台数等

区分	第1駐車場	第2駐車場 (市民会館跡地に暫定的に整備)
所在地	久留米市城南町 16 番地 3	久留米市城南町 16 番地 1
敷地面積	3,174 m ²	7,604.84 m ²
用途地域	商業地域	商業地域
建ぺい率/容積率	80/500%	80/400%
供用開始	平成9年4月	平成30年7月17日
駐車可能台数	174台	168台 バス4台
		合計 車342台 バス4台

2 第2駐車場整備前後の利用状況

第2駐車場整備前は収容台数が不足しており、入庫待ちの渋滞が発生することが多かった。平成29年3月の実績では、22開庁日のうち16日で渋滞が発生し、1日当たりの渋滞発生時間は、8時間45分の開庁時間のうち2時間45分であった。渋滞の列は、北側の駐車場入口から裁判所通りまで延び、時には信号を挟んで商工会館前に達する状況であった。

こうした収容台数不足の対策として、近隣2か所の民間駐車場を指定し、1時間無料の駐車券を交付していたが、利用者は多くなかった。

第2駐車場の整備後は渋滞が発生することはなく、1日当たりの利用台数も増加している。

【参考】第2駐車場整備前後の利用台数比較

月	H29（第2駐車場整備前）			H30（第2駐車場整備後）	
	台数（1日当）	台数（月間）	うち指定駐車場台数	台数（1日当）	台数（月間）
8月	1,018	22,391	(209)	1,141	26,253
9月	1,014	20,278	(131)	1,225	22,055
10月	1,092	22,923	(316)	1,151	25,317
11月	1,000	20,005	(172)	1,213	25,471
12月	1,000	20,007	(113)	1,233	23,419

※平成29年7月以前と平成29年1月以降は、旧市民会館駐車場の一部を使用

3 時間帯別の利用状況（平成27年3月の利用状況から推計）

1日の利用台数を1,200台とした場合

時間帯	8:30～	9:00～	10:00～	11:00～	12:00～	13:00～	14:00～	15:00～	16:00～
台数	69	183	169	136	133	129	170	143	68
割合	6%	16%	14%	11%	11%	11%	14%	12%	6%

特に集中する時間帯はないが、9時から11時までと、14時から16時までが比較的に利用が多い。

職員数の推移

(単位：人・%)

部 門 \ 区 分	24年	25年	26年	27年	28年	29年	過去5年間の 増減数(率)
一般行政	1,389	1,368	1,364	1,377	1,377	1,374	-15 (-0.7%)
教育	280	276	273	273	271	267	-13 (-8.6%)
消防	0	0	0	0	0	0	0 (0.0%)
普通会計計	1,669	1,644	1,637	1,650	1,648	1,641	-28 (-2.1%)
公営企業等会計計	238	228	232	234	233	235	-3 (-3.3%)
総合計	1,907	1,872	1,869	1,884	1,881	1,876	-31 (-2.3%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

保健福祉分野の直近5年間の推移

■正規職員数

単位:人

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
健康福祉部	294	300	309	304	293
子ども未来部	124	131	133	137	151
合計	418	431	442	441	444
前年比(%)	—	3.1	2.6	-0.2	0.7

■予算額

単位:円

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
一般会計(民生費)	金額	565億6,400万	587億4,000万	628億4,300万	632億3,200万	627億6,300万
	対前年比(%)	—	3.9	7.0	0.6	-0.7
特別会計(国民健康保険)	金額	370億2,900万	418億4,600万	430億9,000万	422億2,000万	335億3,000万
	対前年比(%)	—	13.0	3.0	-2.0	-20.6
特別会計(介護保険)	金額	243億4,000万	239億7,000万	252億	253億2,000万	259億9,000万
	対前年比(%)	—	-1.5	5.1	0.5	2.7
特別会計(後期高齢者医療)	金額	37億9,100万	40億2,200万	38億9,700万	41億8,400万	42億3,900万
	対前年比(%)	—	6.1	-3.1	7.4	1.3
特別会計(母子父子寡婦福祉資金)	金額	1億2,400万	1億1,300万	1億700万	1億1,300万	1億2,800万
	対前年比(%)	—	-8.9	-5.3	5.6	13.3
合計	金額	1,218億4,800万	1,286億9,100万	1,351億3,700万	1,350億6,900万	1,266億5,000万
	対前年比(%)	—	5.6	5.1	-0.1	-6.2

■主な福祉分野の状況

●障害者福祉

(1)手帳交付件数

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
身体障害者手帳交付者数	13,205	13,143	12,964	12,472	12,399
療育手帳交付者数	2,013	2,012	2,103	2,334	2,427
精神障害者保健福祉手帳交付者数	2,167	2,315	2,404	2,561	2,875
合計	17,385	17,470	17,471	17,367	17,701
前年比(%)	—	0.5	0.0	-0.6	1.9

(2)基幹相談支援センター相談件数 ※H28年7月に設置

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
相談件数	—	—	—	4,085	7,373

●高齢者福祉

(1)要介護認定状況

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
要介護認定者数(要支援1～要介護5)	14,283	14,719	14,990	15,268	15,340
前年比(%)	—	3.1	1.8	1.9	0.5

(2)地域包括支援センター相談件数

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総合相談件数	4,372	4,389	4,596	4,711	5,318

●婦人相談・児童相談等

(1)婦人保護状況

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
婦人保護相談件数(来訪者)	357	292	317	285	241

(2)児童相談状況

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
児童相談件数	997	1,331	1,054	1,221	1,590
うち児童虐待	170	176	217	203	250

(3)子ども子育てサポートセンター開設後の子ども総合相談の状況 ※H29年10月開設

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
相談件数	—	—	—	—	915

●保育所・学童保育所

(1)保育所利用状況 ※各年4月1日現在

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
就学前児童数	17,382	17,532	17,629	17,712	17,451
入所希望児童数	8,144	8,466	8,820	9,089	9,134
入所児童数	8,081	8,405	8,722	8,845	8,862

(2)学童保育所利用状況 ※各年5月1日現在

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
利用児童数	3,138	3,305	3,561	3,793	4,156

●母子保健

(1)妊娠届出数・母子健康手帳交付総数

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
届出総数	2,953	2,997	2,947	2,849	2,859
交付総数	3,110	3,110	3,021	2,929	3,094

●児童手当等

(1)児童手当(子ども手当含む)支給状況

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
対象児童数	40,553	40,172	40,176	39,913	39,588

●公的扶助等

(1)生活保護の状況

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
被保護世帯数	4,562	4,739	4,917	5,097	5,205
被保護人員	6,205	6,409	6,570	6,709	6,781
保護率(%)	20.6	21.2	21.7	22.0	22.2

(2)生活自立支援センター相談件数 ※H27年6月設置

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
自立相談支援事業新規相談件数	—	—	668	845	887

久留米市保健所

～現状と課題について～



平成31年3月 保健所総務医薬課

久留米市保健所の現状

久留米市保健所の現状 1 設置の経緯

■地域保健法 第5条

保健所は、都道府県、地方自治法第252条の19第1項の指定都市、同法第252条の22第1項の中核市その他の政令で定める市又は特別区が、これを設置する。

- ▶ 平成17年 2月 1市4町の合併により、人口30万人の中核市要件を満たす
- ▶ 平成18年 4月 保健所準備室を設置
- ▶ 平成19年11月 中核市指定の政令公布
- ▶ 平成19年12月 「久留米市保健所設置条例」等関係条例の制定
動物管理センターを建設
- ▶ 平成20年 2月 城島総合支所4階を改修し、検査施設(衛生検査センター)を整備
- ▶ 平成20年 4月 中核市移行 保健所を設置、業務を開始
- ▶ 平成29年10月 母子保健事業を子ども未来部へ移管

久留米市保健所の現状 2

組織と所掌事務

4

- 健康福祉部に属する。
- 5課体制。出先も含め約100人の職員が所属。
- 医師の保健所長のほか、職員の多くが獣医師、薬剤師、保健師、管理栄養士等の専門職

健康福祉部

保健所

総務医薬課

衛生対策課

保健予防課

健康推進課

地域保健課

総務医薬課

- 総括調整
- 庶務財務
- 人口動態統計
- 医事薬事

衛生対策課

- 食品衛生
- 生活衛生
- 狂犬病対策
- 動物愛護
- 試験検査

保健予防課

- 精神保健
- 自殺対策
- 感染症対策
- 予防接種

健康推進課

- がん検診
- 特定健診
- 健康増進
- 栄養指導
- 難病対策
- 在宅医療

地域保健課

- 地域保健活動
- 保健センター管理

市民の 健やかで安全な暮らし

快適な生活環境

健康の保持・増進

久留米市保健所の現状 3 施設の概要

- 1 保健所（事務診療部門）
- 2 衛生検査センター（検査部門）
- 3 動物管理センター（動物管理センター）
- 4 地域保健センター

久留米市保健所の現状 3 施設の概要

1 保健所（事務診療部門）

- 久留米商工会議所 4階と3階の一部（賃借）
- 申請等窓口業務、企画業務 等
- 職員約70名が勤務
- 相談室等は、HIV検査等の検査業務、母子保健事業の会場としても利用

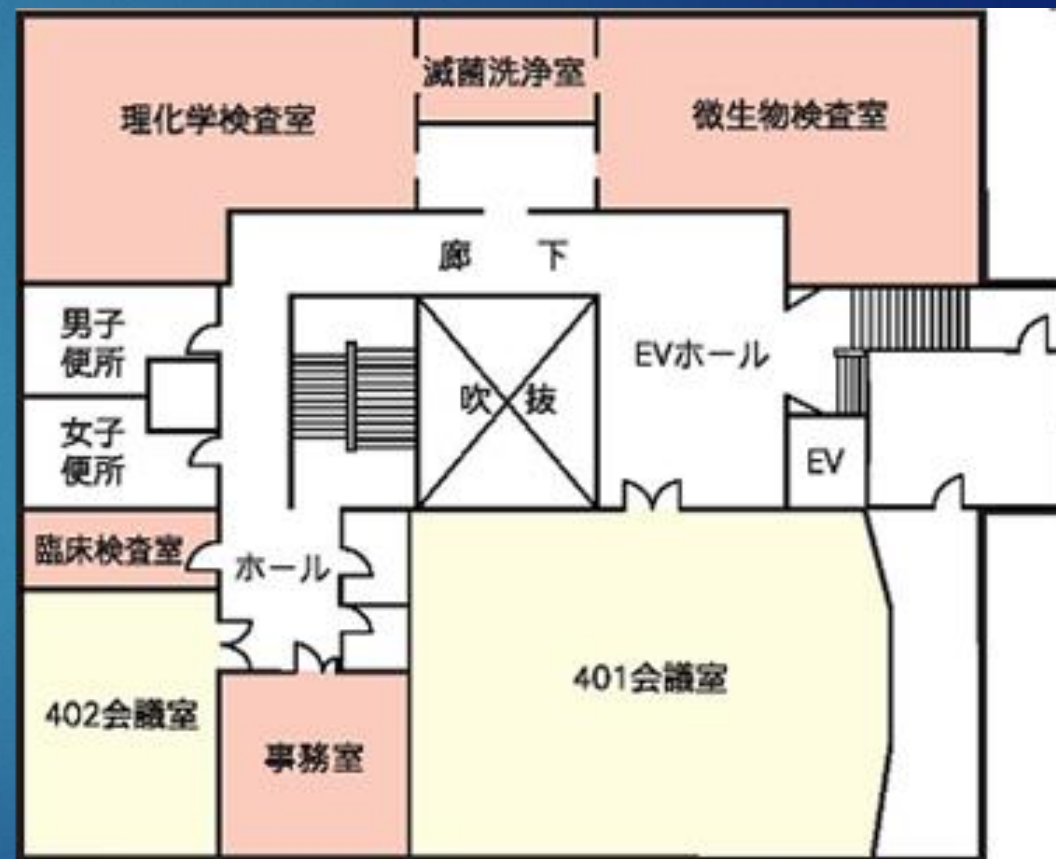


久留米市保健所の現状 3 施設の概要

8

2 衛生検査センター（検査部門）

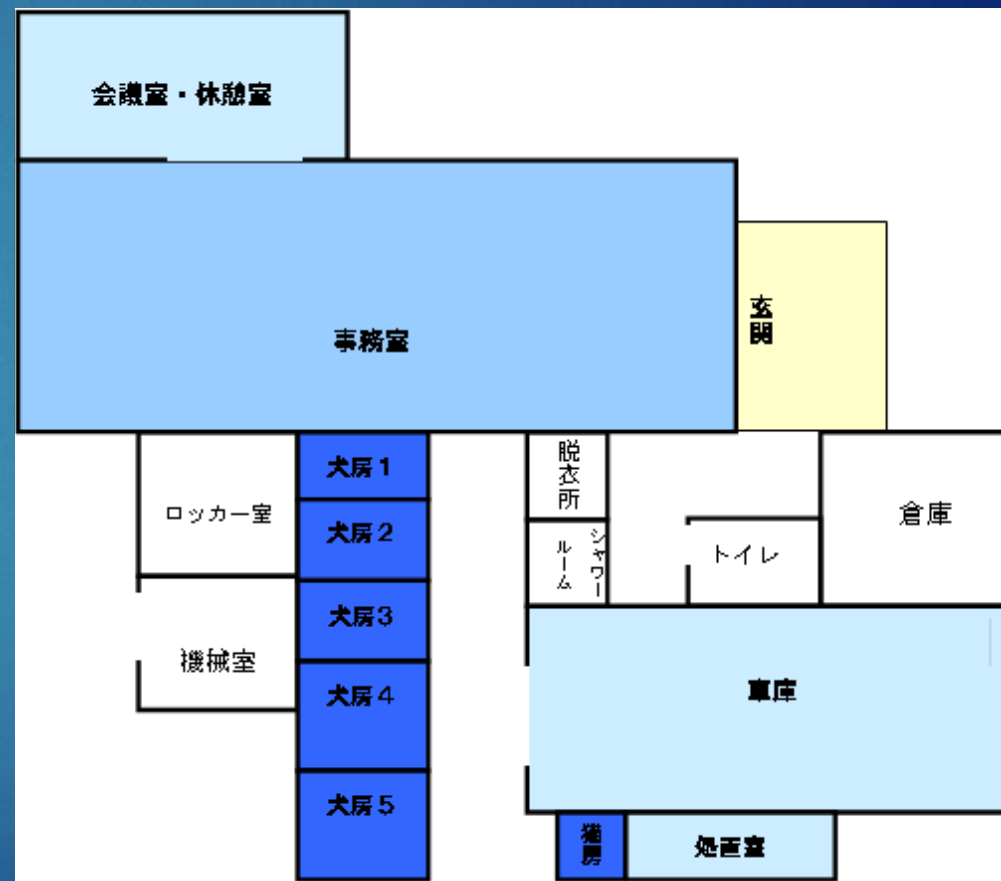
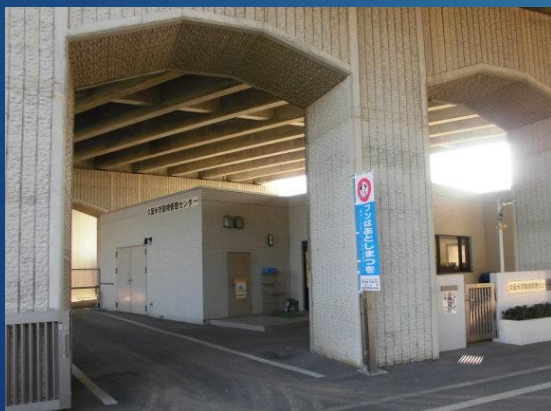
- 城島総合支所 4 階に整備
- 保健所で採取した検体の微生物検査、
理化学検査を実施
- 市民の来所はない



久留米市保健所の現状 3 施設の概要

3 動物管理センター（検査部門）

- 二千年橋南側高架の下に整備
- 飼犬の登録、動物愛護事業、犬・猫に関する相談・引き取り
- 犬・猫の一時保管



久留米市保健所の現状 3 施設の概要

10

4 地域保健センター

- 地域保健法第18条に基づき設置
- 健診会場として利用したり、住民に対する健康相談、保健指導等を実施
- サークル活動等への貸室事業、一部の保健センターにはトレーニング室・プール有。
- 南部（上津）、田主丸、北野、城島、三潴の計5カ所に設置



多目的室



研修室



調理事実習室



会議室

※ 写真は、コスモすまいる北野（北野保健センター）

■ 各施設の配置状況



久留米市保健所の課題

久留米市保健所の課題 1

施設機能の不足

(1) 災害・健康危機発生時の拠点機能が不十分

- 災害発生時等、保健所は医療・救護対策の中核機能を担う重要な役割。
- 緊急時の自家発電装置の設置が無い等、災害対策拠点としての機能維持に不安がある。

(2) 診療施設としての機能の不足

- 貸しテナント入居のため、診察・検査を実施するための十分な環境が整っていない。
- 法律上備えるべき、エックス線装置が設置されていない。
- プライバシーを確保できる相談スペースが不足している。

(3) その他

- 所設置後の事務の委譲や職員の増加に伴い、事務スペース、倉庫等が狭小化している。
- 民間ビルへの入居のため、セキュリティ面の不安、施設利用面での不便がある。

久留米市保健所の課題 2

検査部門の分散配置

(1) 健康危機対応に支障の恐れ

- 衛生検査センターは、本所から約15km離れた城島総合支所に設置されている。
- 感染症、食中毒等、健康危機発生時の迅速な対応に、支障が生じる恐れがある。
- また、検体輸送中の万が一の事故が生じる可能性も否めない。

(2) 職員配置の硬直化

- 検査手技の習得や、専門的知識が求められるため、薬剤職等の専門職を配置。
- 本庁と遠隔であるため、他の係との人間的な相互融通がしづらく、数が少ない専門職の効率的な配置を阻害している。

久留米市保健所の課題 3

中央保健センターが未整備

(1) 事業を実施する施設の不足

- 市中部で実施する各種検（健）診、健康教室、栄養指導、母子保健事業は市庁舎やえーるピアなどの既存施設で代用
- 専用施設がないことから、事業スケジュールの設定や効率的・効果的な事業展開に支障

(2) 市民の健康づくり拠点の不存在

- 既存の保健センターでは、貸室事業を行っており、地域住民の団体、サークル等と行政が協働して活動する場としての機能を果たしている。
- このような健康づくりの拠点となる施設が市中部に不存在であり、市中部と旧町部等で地域間の格差が生じている。

【参考】

保健所設置時、中核市指定に間に合わせることを最優先として、当面既存施設を活用する方針とした（暫定整備）。

【平成18年 中核市移行調査特別委員会 提言】

暫定配置となる保健所施設については、速やかに将来構想を検討し、10年以内を目処に中核市にふさわしい施設に整備すること

【久留米市新総合計画第3次基本計画】

保健・健康づくり施策展開の核となる保健所と（仮称）中央保健センターの一体的整備に向けた取り組みを進める

幼児教育研究所の現状

資料4





所在地
久留米市庄島町 1 1 - 1
市役所から
南へ 600m
徒歩 10分

施設について

- ◇ 施設名 久留米市総合幼児センター
昭和54（1979）年4月落成 築40年
1階 江南保育園
2階 幼児教育研究所
江南子育て支援センター
久留米市保育協会事務局



施設概要

総敷地面積	3390.00m ²
建物面積	1853.84m ²
鉄筋コンクリート2階建	
幼児教育研究所等（2階）	827.63m ²
保育所（1階）	1026.21m ²

事業運営について

- ◇ 調査研究事業 発達支援の研究的実践
- ◇ 研修事業 幼保小研修事業推進
- ◇ 広報・啓発事業 講演会、学習会など
- ◇ 発達支援事業 相談、訓練、療育

発達障害とは

「自閉症」「LD（学習障害）」「ADHD（注意欠陥多動性障害）」など

自閉症とは

人間関係の形成の困難さ、言葉の発達の遅れ、特定のものへの強いこだわりなど

LD（学習障害）とは

知的発達に遅れはなく、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する能力に困難

ADHD（注意欠陥多動性障害）とは

衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動に困難

（文部科学省HPより）

早期発見・支援が、その後の生活、学校生活への適応をスムーズにする

発達支援の現状

◇ 特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室のいずれかを
受けている児童割合 3. 2% (H29 文科省資料)

◇ 知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を
示すとされた児童生徒 6. 5%

(通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする
児童生徒に関する調査結果について H24 文部科学省調査)

本市の人口 (2歳から6歳) 14, 556人

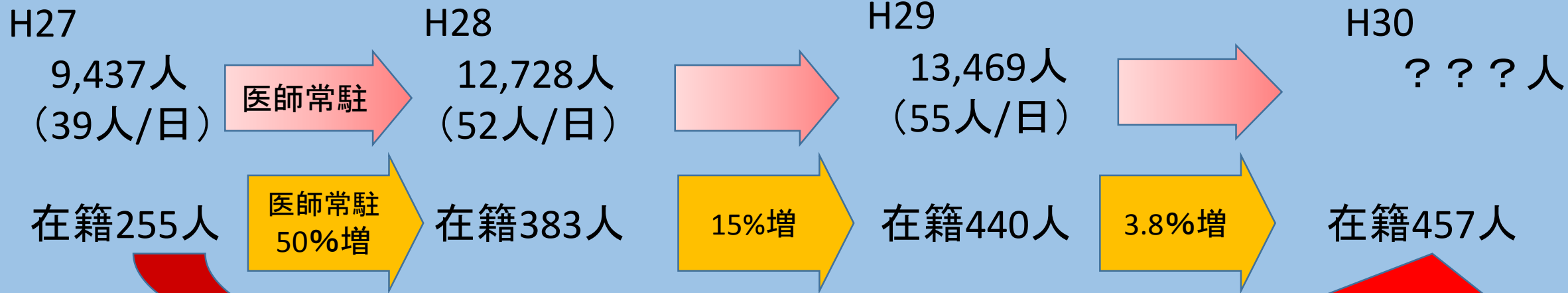
幼研利用者 (2歳から6歳) 457人

2歳から6歳までのうち、幼研利用者が占める割合 3. 1%

利用状況について 詳細数値は要覧P12

利用対象者 就学前の乳幼児
利用内訳 週に1回の療育や月に1回程度の訓練を利用
利用方法 保護者とともに通所

延べ利用者数

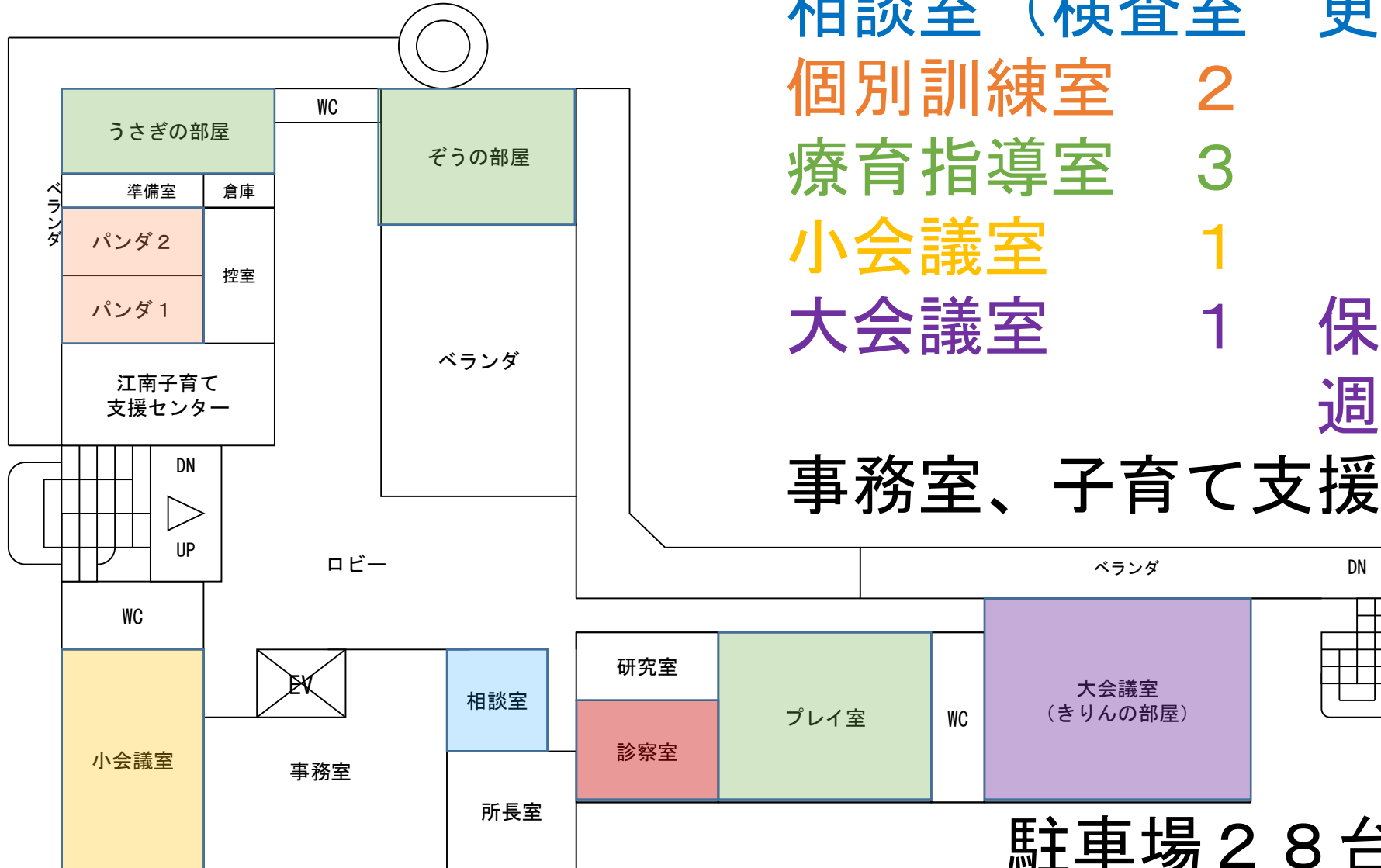


1.8倍

<増加理由の推測>

通所の低年齢化による増加、園からの紹介増加、保護者の意識の高まり

施設について



診療所

相談室 (検査室 更衣室を流用)

個別訓練室 2

療育指導室 3

小会議室 1

大会議室 1 保育園と兼用

週3日利用可

事務室、子育て支援センターなど

駐車場 28台分

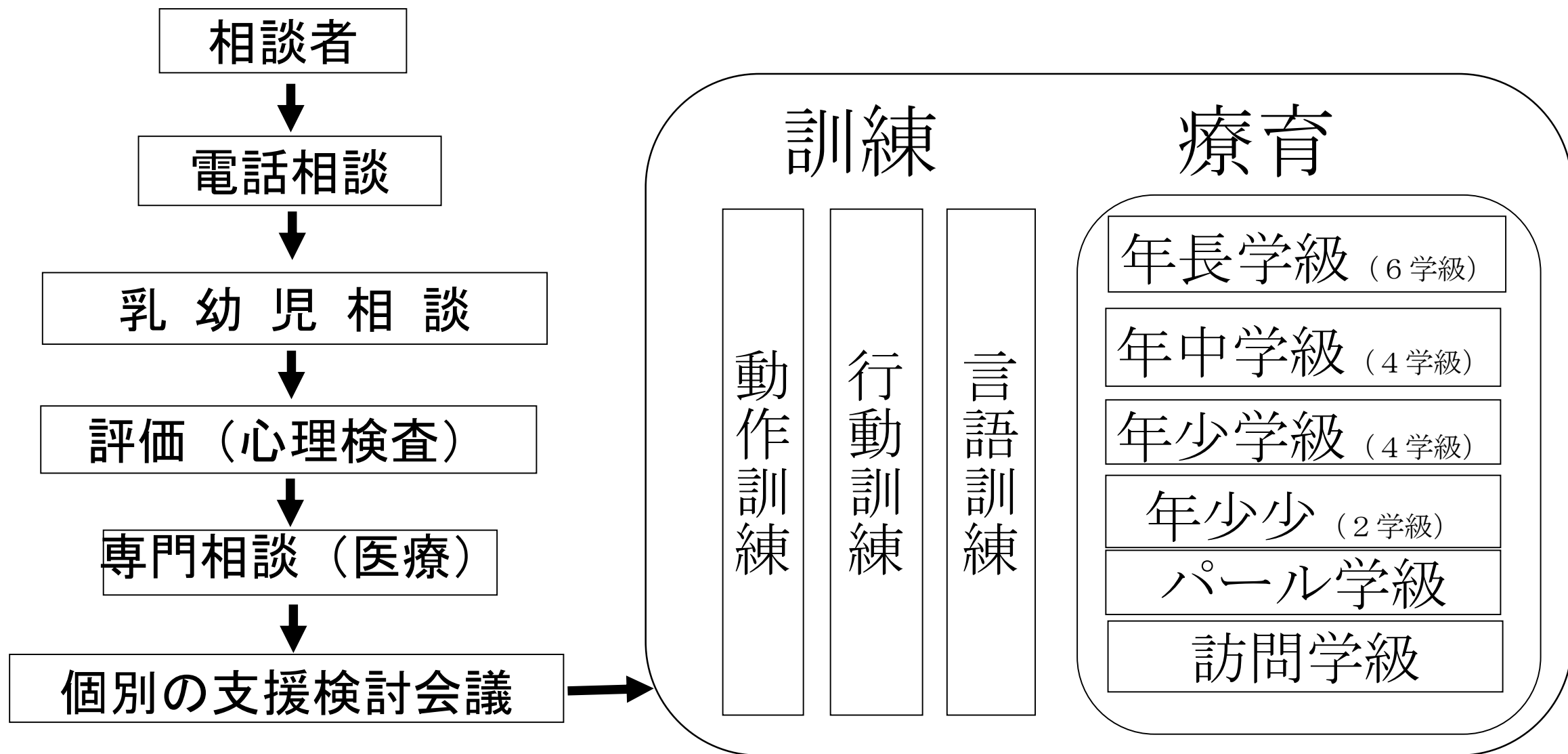
青木繁旧居駐車場借用

組織について

- ◇ 正規職員 3名
 - 所長（教育職）
 - 指導主事（教育職）
 - 保育士（保育職）
- ◇ 再任用職員
 - 相談員 2名（保育職、一般事務職）
- ◇ 任期付短時間勤務職員（6時間勤務）
 - 社会福祉士 1名、臨床心理士 1名
- ◇ 嘱託職員（週4日勤務）
 - 医師 1名
- ◇ 非常勤職員
 - 保育士 5名、事務員 1名

- ◇ 外部委託
 - 言語訓練 3名
 - 行動訓練 7名
 - 動作訓練 3名
 - 巡回相談支援員 3名
 - 訪問療育指導員 3名

発達支援事業 利用の流れ



※ 療育、訓練は1回45～60分程度

課題について

◇訓練・療育スペースの不足

訓練や療育は少人数で実施する必要があるが、利用ニーズは増えており、施設のスペースの問題から、これ以上の利用者の受け入れが困難になっている。また、発達検査を支障なく行うスペースが確保できていない。

◇施設の老朽化

築40年が経過しており、空調やトイレの改修が課題となっている。

◇駐車場の不足

1日あたりの利用者数に見合う駐車スペースが確保できていない。



トイレ

男女トイレが隣接しており、出入りが見えたり、音が聞こえたりなどの苦情がある。





女性用トイレ



トイレは和式便器がメイン



唯一の洋式便器のトイレ

しかし、便器の幅も狭い。また、幼研にはおむつ替えスペースがない。¹⁶



椅子を入れた集団療育活動

子どもたちの後ろには保護者がおり、移動も困難



検査室 静かで刺激のない環境が求められる。
→ 場所不足から更衣室をカーテンで仕切る。
事務室の声が筒抜けで、正しい検査ができにくい。
診察室の通路にもなっており、刺激となる。



机を利用した活動

机の適正数は12脚
在籍数が22人

その結果、くっつけた環境
指導員も近づきにくい。

外部刺激が苦手な子どもに
とって苦痛であり、
指導の成果が出にくい。



保育園と共用の大会議室（週3日だけ利用可）
床も古く、軋み音が発生し、子どもへの刺激となる。



診察室

部屋が不足しているなので、行動観察ができない。



壁面のひび割れ、雨漏り、床の剥がれなど

幼児教育研究所の現状

